

タロット占いメール鑑定 鑑定文作成チェックリスト

【鑑定方針（感情の読み取り）】

- 顧客の相談内容を丁寧に読み込み、真のニーズを理解している。
- 相談文から、顧客の性格や置かれている状況、潜在的な欲求を読み取れている。
- 顧客がどんな未来を望んでいるのか、どのような解決を期待しているのかを想定できている。
- 複数の選択肢で迷っている場合、どちらを後押しすべきか、あるいは中立的な立場でアドバイスすべきかを判断している。
- 客観的に見て状況が絶望的な場合、希望を完全に否定せず、前向きになれる言葉を選ぶことに注力する方針を決めている。
- 倫理的な観点から、デリケートな問題（妊娠など）は安易に断言せず、慎重な表現を心がける方針を決めている。

【全体】

- 上記で定めた鑑定方針に基づき、顧客を希望する方向へ導く構成になっている。
- 顧客の不安や悩みに寄り添う言葉で、鑑定文全体が温かい雰囲気で満たされている。
- 鑑定文の冒頭で、顧客の心情を具体的に描写し、共感を示している。（特にセリフ調の表現を活用）
- 顧客が求める言葉（結論）を想定し、カードの意味を逆算的に解釈している。
- 鑑定文は読みやすく、誤字脱字がないか、主語は明確か、一文が長すぎないかなどを確認している。
- 希望や可能性を強調し、顧客に前向きな気持ちを与えている。
- 顧客が行動を起こせるよう、具体的なアドバイスや行動指針を提示している。
- 全体を通して、顧客の自己肯定感を高める言葉かけを意識している。

【表現】

- 断定的な表現や決めつけの表現は避けている。「～かもしれません」「～のようです」「～という印象を受けます」など、断言を避ける表現を使用。
- 未来を予言するような表現は避け、「〇〇すれば△△になるでしょう」といった条件付きの表現を用いる。
- カードの意味を絶対的なものとせず、複数の解釈を示すことも有効。
- 顧客の言葉以上にネガティブな表現は使用していない。
- ネガティブワードの使用は極力避け、ポジティブな言い換え表現を活用している。
- 抽象的な表現を適切に用いることで、顧客自身の解釈に委ね、ネガティブな感情を抑制している。
- 専門用語を避け、顧客が理解しやすい言葉で説明している。
- 占い師自身の主観や価値観を押し付けないように注意している。
- ネガティブなメタメッセージ（言葉の裏に隠れた否定的な意味）を発していないか注意深く確認している。
- 顧客の強みや長所を具体的に褒めることで、自己肯定感を高めている。

- 「4つの学習タイプ」を意識し、それぞれのタイプに響く言葉を盛り込んでいる。
- バーナム効果を理解し、誰にでも当てはまるような表現を効果的に活用している。
- 顧客が「選ばせる」「個人に向けられた内容だと思わせる」演出を取り入れることで、鑑定結果への納得感を高めている。

【項目】

- 顧客の状況、気持ち、相手の気持ち、未来、アドバイスなど、複数の項目を設定し、それぞれにカードを引いて解釈している。
- 各項目の鑑定結果は、200-400字程度を目安に記述している。
- 出たカードの意味を具体的に説明し、顧客の状況にどのように当てはまるのかを分かりやすく解説している。

【その他】

- 必要に応じて、数秘術などの占術も活用し、鑑定結果に深みを与えている。
- 読み手の立場に立ち、感情的に文章を読むタイプの人が不快に感じる表現がないか、最終チェックを行う。

【最終確認】

- 鑑定文全体を通して、顧客が希望や勇気を感じ、前向きに行動できるような内容になっているか確認する。
- 顧客が「この占い師に相談して良かった」「心が楽になった」と感じられるような、温かい鑑定文になっているか確認する。

このチェックリストを活用し、顧客満足度の高い鑑定文作成を目指しましょう！

